

社協だより

かしわざき

柏崎地区社会福祉協議会

発行者

柏崎地区社会福祉協議会

会長 田中泰之

さいたま市岩槻区真福寺365

事務局長 星野一夫

広報担当 森田幸雄

TEL-FAX 048-797-2911



あけまして

おめでとうございます



柏崎地区社会福祉協議会会長

田中泰之

令和3年の新春を迎え新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は、2月からの新型コロナウイルス感染拡大による生活環境や行動が激変した1年でした。今だ収束する気配どころか、更に拡大している現状の中、皆様それぞれの新しい生活スタイルで新年を迎えたものと、ご推察致します。

このような状況下で、令和2年度予定していた当柏崎地区社会福祉協議会の事業の内、9月の敬老会は該当高齢者全世帯に、柏崎地区にある会社で製造された品物を選択し戸別配布に変更し実施しました。又12月末の正月用品等の配布は、例年通り実施しました。

上記以外の事業は「3密」を避けた方法を、スタッフ間で協議しましたが良い案が浮かばず皆様の楽しみに応えられず、大半の行事は中止せざるを得ませんでした事、大変申し訳ございませんでした。

今年度は、昨年末発表のワクチンが開発されたとのうれしいニュースが有りますが、従来の生活に戻るのには1年以上先と考えて「3密」を避け、新しい生活スタイルに合った事業に変更していきたいと思っておりますので、皆様のご支援、ご協力方よろしくお願い致します。

最後に令和3年が新型コロナウイルス感染を克服し皆様が笑顔で1年を終われるよう御祈念し、新年の挨拶といたします。

原町の子供たちが、「折り鶴」と「お絵かき」に挑戦！

(新型コロナウイルスが早く終息しますようお願いを込めて)

原町の「祭り運営委員会」では、今年度の親子ふれあい夏祭りは新型コロナウイルス感染拡大で中止しました。その代わりに原町の乳幼児から中学生までに「コロナが早く消えて」の願いを込めて「折り鶴」又は「お絵かき」に7月16日～24日間に挑戦してもらいました。147名の子どもさんから「お絵かき」が72枚、名前と願い事を書いた「折り鶴」は600羽が集まり、高齢者の有志の方々の分600羽を含め約1200羽となりました。「お絵

かき」はラミネートし、「折り鶴」は、「吊るしつる」3基作り8月2日～16日まで原町ふれあい公園に展示しました。風に乱舞し、キラキラくるくる回る姿は幻想的で見学に来られた子どもさんから大人の方まで「コロナ過」ひと時の安らぎの時間を過ごしておりました。

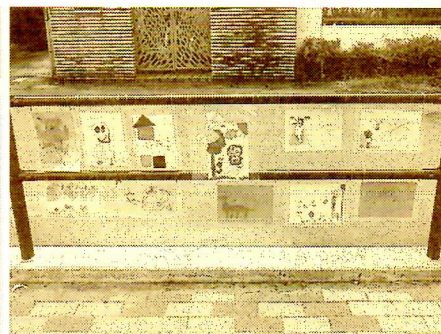
その後、「吊るしつる」は柏崎小学校、岩槻まきば園、原町自治会館にそれぞれ一基寄贈致しました。又「お絵かき」は、タイムカプセル式で、原町自治会館に保管し、10年後に本人に返したいと思います。(原町祭り運営委員会)



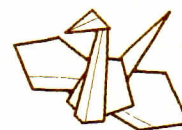
「吊るしつる」を作製中



原町ふれあい公園に飾った「吊るしつる」



原町ふれあい公園に飾った
「お絵かき」の一部



各自治会の紹介

柏崎地区社会福祉協議会には12の自治会がありますが、他地区の事はよく知らないという人が多いと思われます。今号から各自治会長に地区の紹介をして頂くことになりました。今回は誌面の都合で柏崎自治会だけをお願いしましたが、次号からは複数の自治会に紹介をして頂きます。

柏崎自治会

地域内の住民相互の親睦を図り、共同福祉を増進することを目的とし、ふれあいサロン、ごみゼロ運動、夏まつり、防犯パトロール、防災訓練等の活動を通して、子供から高齢者まで、安心安全に暮らせる地域を目指しています。地区体育振興会、地区社会福祉協議会と合同で、歩け歩け大会、ビーチボール大会、運動会、グラウンドゴルフ大会、敬老会、等にも参加しています。

(柏崎自治会長 星野一夫)

社協事務所

開所日時 月曜日～金曜日（土日祝祭日休み、臨時休有り）
10時～12時・13時～16時

TEL・FAX 048-797-2911 地域福祉コーディネーター 倉田 真由美